

健康発達学部食健康学科



教育目標

食健康学科は、食を通じた健康に関する幅広い知見と、栄養学を中心とした食物（調理を含む。）や人の体に関する専門的知識・技術を併せ持ち、それらを総合的に理解して、倫理観やグローバルな視野も身に付けて他者と豊かなコミュニケーションを構築し、人々の健康やQOL（生活の質）の向上に寄与する食を通じた健康のプロフェッショナルとなる人材を育成することを目標とします。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

食健康学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする次のような資質・能力を備えた者を求め、受け入れるものとします。

- ・人との関わりを大切にし、楽しく豊かな食を創造しようとする者
- ・人々の生命を支える食の営みを、科学的に探究することに情熱のある者
- ・管理栄養士としての専門性を生かして、長野県の健康長寿の発展に貢献したい者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力とグローバルな視野を身に付け、社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身に付け、協働して目標を達成することを志す者
- ・栄養学の土台となる化学や生物などの基礎学力を身に付けている者

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

食健康学科は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身に付けることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。総合教育科目において、英語力と教養を身に付けるとともに、専門教育科目において、栄養士免許、管理栄養士の国家試験受験資格のほか、栄養教諭一種免許状が取得できるよう系統的・段階的な履修ができる編成とします。

- ・自ら課題を発見して、科学的根拠に基づいた望ましい食を提案する力を醸成するための食の現状と課題について広く学ぶ教育プログラム
- ・専門教育科目における専門基礎科目と専門科目を系統的・段階的に配置して基礎と実践の関係性を重視する科目体系
- ・学生が主体的に学ぶ姿勢を培うための演習におけるディスカッションの実施や実験・実習の充実

- ・コミュニケーション能力やリーダーシップを涵養する科目の専門教育科目への配置
- ・論理的・科学的に考察する総合的な能力を高める卒業研究や、基礎的な知識・技術に基づいて実践力を高める総合演習
- ・即戦力となる能力を育成するための多彩な実習内容と時間を確保した臨地実習
- ・聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力を育成するための英語集中プログラムと異文化体験による視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム
- ・教員と学生が一体となって、教育・研究に取り組むための少人数教育の実施

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

食健康学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・専門的知識と技術を身に付け、論理的・科学的に考察する力
- ・人との関わりを大切にし、食を通して人々の健康を支える力
- ・生涯にわたり、主体的な学びを継続する力
- ・食文化や食習慣について探究できるグローバルな視野を持ちつつ、地域において食を通じた健康に関する活動を実践する力
- ・管理栄養士としての倫理観に則り、ミッションを達成できる力

カリキュラム例（管理栄養士養成課程の場合）

	1年次	2年次	3年次	4年次
総合教育科目	英語 発信力ゼミ 情報リテラシー など	英語 など		
専門基礎科目	健康発達概論 管理栄養士活動論 臨床医学概論 食品学 調理学 など	海外プログラム 食文化論 生化学 病理学 など	公衆衛生学 運動生理学 栄養疫学 など	
専門科目	基礎栄養学 給食経営管理論 など	応用栄養学 公衆栄養学 臨地実習（学校給食センター） など	臨床栄養管理学 栄養教育論 ゼミナール 臨地実習（病院） 臨地実習（保健所） など	総合演習 卒業研究 など

卒業後の主な進路（想定）

- ・ 行政機関（国、県、保健所、市町村保健センター等）
- ・ 医療機関（病院、クリニック等）
- ・ 福祉施設（老人福祉施設、児童福祉施設（保育所等））
- ・ 幼稚園、小・中・特別支援学校
- ・ 教育・研究機関（大学、研究所等）
- ・ 食品関連企業

取得可能な免許・資格

- ・ 管理栄養士国家試験受験資格
- ・ 栄養教諭1種免許
- ・ 栄養士

健康発達学部こども学科



教育目標

こども学科は、こどもがより良く育つための環境や教育についての広い識見を有し、グローバルな視野を持ちながら、地域の環境を生かした保育を創造するとともに、関係者と協働しつつ、保育や子育てをめぐる課題解決を図ることができる実践力と専門性を持ち、将来の保育・幼児教育のリーダーとなる人材を育成することを目標とします。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

こども学科の教育目標に共鳴し、挑戦する強い意欲を持って学ぼうとする次のような資質・能力を備えた者を求め、受け入れるものとします。

- ・こどもを愛し、その幸せを実現する意欲と志を持っている者
- ・こどもの健やかな成長・発達を支援する環境や教育について、科学的に探究し、行動する習慣と粘り強さを持っている者
- ・幼稚園教諭免許状、保育士資格を取得し、その専門性を生かして地域に貢献したいという意欲を持っている者
- ・自ら求めて考え、行動し、協働しながら学び、より良い保育を創造する多様な資質を持っている者
- ・英語集中プログラムと海外プログラムを通して、聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力とグローバルな視野を身に付け、社会で活躍したい者
- ・寮生活を通して、豊かな人間性と高い倫理観を身に付け、協働して目標を達成することを志す者

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

こども学科は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身に付けることができるよう、次の特徴を有するカリキュラムを編成します。総合教育科目において、英語力と教養を身に付けるとともに、専門教育科目において、専門性の基礎となる科目を必修とした上で、柔軟かつ多様な思考力、創造力、実践力を育むために全体として科目の選択的履修を重視した編成とします。

- ・保育・幼児教育の基盤となる自然や文化、地域的な特徴などの環境について理解し、そこに成り立つ保育や教育のあり方について広く学ぶ教育プログラム
- ・聴いて内容の主要な点を理解できるレベルの英語力を育成するための英語集中プロ

グラムと異文化体験による自国保育の理解を含むグローバルな視野の拡大、国際感覚、主体的な行動力を育成するための海外プログラム

- ・保育の基礎的な知識や技能を獲得し、こどもの主体性や表現力を育成する保育を展開するための知識や技能、組織のあり方などについて学ぶ科目体系
- ・こども、子育ての状況や課題について広く学び、今日的な課題の実践的理解と課題解決力を醸成する科目の充実
- ・学修によって身に付けた知識や技能を専門的立場から社会に還元する幼稚園教諭免許状や保育士資格が取得できる養成プログラム
- ・主体的な学びを通して、課題発見力、情報の収集・分析力、表現力、コミュニケーション力などを育成する双方向による少人数ゼミの充実

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

こども学科は、教育目標を実現するために設けた所定の専門教育科目と総合教育科目を履修することにより、次に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

- ・健やかにこどもが育つための課題を明らかにし、子育てや保育について探究できるグローバルな視野を持ちながら、地域や社会の特性を生かした保育を創造する専門的知識と支援力
- ・保育や教育の場でこどもと保護者を支え、より良い子育て・子育て環境を創造する論理・実践力
- ・乳幼児期のこどもの特性を理解し、豊かな表現力と感受性をもって乳幼児にふさわしい保育・教育を総合的に計画・展開する力
- ・保育者として学び続け、他者との協働によって課題を解決するための課題発見、情報収集、分析思考力、表現力、コミュニケーション力などの汎用的能力

カリキュラム例

	1年次	2年次	3年次	4年次
総合 教育 科目	英語 発信力ゼミ 情報リテラシー 健康と運動科学 など	英語 言語学 など		
専門 基礎 科目	健康発達概論 保育原理 発達心理学 など	海外プログラム こども学 など		
専門 科目	保育内容（言葉） 自然保育論 など	保育の指導法 保育内容総論 自然保育演習 教育実習 こども学ゼミⅠ など	発達支援論 保育課程論 保育臨床特殊講義 保育所実習 施設実習 こども学ゼミⅡ など	発達支援演習 保育経営論 教育実習 保育者支援論 卒業研究 など

卒業後の主な進路（想定）

- ・ 保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設等
- ・ 教育関連企業
- ・ 地域子育て支援拠点
- ・ 行政機関、NPO 法人等

取得可能な免許・資格

- ・ 保育士
- ・ 幼稚園教諭 1 種免許

総合教育科目



本学では、教養教育に係る科目を「総合教育科目」とし、「外国語科目」「基盤科目」「人文系科目」「社会系科目」「自然・情報系科目」の5つの科目群によって構成しています。

1・2年次の「英語集中プログラム」や1年次の「発信力ゼミ」などの少人数授業で、学生一人ひとりの個性や資質に合った教育を行います。

外国語科目

英語（1・2年次）【必修】

「英語集中プログラム」という4技能（読む・聞く・書く・話す）融合型の授業を集中的に行い、英語運用能力と英語コミュニケーション能力を養成します。

英語集中プログラム

- ・週4回（健康発達学部は2年次2学期以降週2回）の授業（1クラス25人程度の少人数制）で、英語運用能力と英語コミュニケーション能力をバランスよく養成し、実践的な英語力を身に付けます。
- ・2年次修了時までの最低到達目標をTOEIC600点相当に設定し、高いスコアを獲得するための英語力を重点的に養成します。また、クラス編成のためのプレースメントテストを実施し、それぞれの習熟度に合った指導を行います。

諸外国語【選択】

フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語、日本語（留学生用）

基盤科目

【必修】

発信力ゼミ（1年次）

- ・学部混合で15クラスに分かれて、1クラス16人程度の少人数制で授業を行います。大学で必要となる基礎能力（母語発信力、思考・判断力、表現力、アカデミックスキルズなど）を養成します。

情報リテラシー（1年次）

- ・コンピュータやネットワークを使いこなすための基礎知識や情報モラルなどを学ぶとともに、大学での生活、学習、研究に必要なICT（情報通信技術）の利活用スキルを身に付けます。

象山学（1年次・健康発達学部は選択）

- ・江戸時代末期の洋学研究者佐久間象山にちなんで命名した授業であり、長野県内で活躍する企業経営者など多様なゲストスピーカーによるオムニバス講義で、自らの生き方や将来像を考えます。

【選択】

デザイン思考、世界の文化と社会、信州学、健康と運動科学、シーズンスポーツ、グローバル教養ゼミ

人文系科目【選択】

心理学、哲学、倫理学、教育学、言語学、文学、歴史（近現代）、民俗文化論、文化人類学、音楽

社会系科目【選択】

国際関係論、社会学、憲法、経済学入門、社会保障入門

自然・情報系科目【選択】

数学的発想、生命科学、プログラミング基礎、IT活用論

海外プログラムの研修先

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

国・都市	アメリカ・ ミズーリ州コロンビア	ニュージーランド・ クライストチャーチ	ニュージーランド・ クライストチャーチ
研修先	ミズーリ大学 コロンビア校	リンカーン大学	AIC クライストチャーチ 工科大学
研修先 (英語表記)	University of Missouri	Lincoln University	Ara Institute of Canterbury
期間	4 週間	3 週間	3 週間
人数	30 名×1 グループ	30 名×1 グループ	30 名×1 グループ
宿泊	学生寮	ホームステイ	ホームステイ
費用	60 万円 (概算)	45 万円 (概算)	45 万円 (概算)

国・都市	スウェーデン・ウプサラ	フィリピン・マニラ	イギリス・レスター
研修先	スウェーデン市民大学 ウプサラ校	アテネオ大学 語学学習センター	レスター大学
研修先 (英語表記)	Folkuniversitetet Uppsala	Ateneo Language Learning Center	University of Leicester
期間	3 週間	3 週間	3 週間
人数	30 名×1 グループ	30 名×1 グループ	30 名×1 グループ
宿泊	ホステル	ホテル又はホステル	ホームステイ又は学生寮
費用	45 万円 (概算)	30 万円 (概算)	55 万円 (概算)

(※) 費用は、為替相場の変動などにより今後変更となる可能性があります。

健康発達学部食健康学科

国・都市	アメリカ・ ミズーリ州コロンビア	ニュージーランド・ クライストチャーチ
研修先	ミズーリ大学 コロンビア校	AIC クライストチャーチ 工科大学
研修先 (英語表記)	University of Missouri	Ara Institute of Canterbury
期間	2 週間	2 週間
人数	15 名×1 グループ	15 名×1 グループ
宿泊	学生寮	ホームステイ
費用	40 万円 (概算)	35 万円 (概算)

(※) 費用は、為替相場の変動などにより今後変更となる可能性があります。

健康発達学部こども学科

国・都市	フィンランド・ ヘルシンキなど
研修先	オムニア職業学校、 民間保育施設など
研修先 (英語表記)	Omnia
期間	2 週間
人数	40 名×1 グループ
宿泊	学生寮又は 長期滞在マンションなど
費用	40 万円 (概算)

(※) 費用は、為替相場の変動などにより今後変更となる可能性があります。